

追悼の辞 (In Memoriam)

学 長 島 田 晴 雄

岡本博司教授がお亡くなりになったことは、本当に残念でなりません。

岡本教授は、昭和41年に本学に着任されて以来、40年以上の長きに亘って、教育研究に大いに活躍され、多くの人材を育ててくださいました。特に、財政学で優れた業績をお持ちであった岡本教授は、学部及び大学院修士課程において税理士をめざす学生の指導に大変力を入れておられました。他大学からも岡本教授の指導を受けたいと税理士志望の学生が本学大学院に入学してくるほど、岡本教授の指導には定評がありました。本学同窓生には税理士や公認会計士、FPなどの資格をお持ちの方が大勢おられます。その中の多くの方が、岡本教授の指導を受けられたのではないかと思います。

このことは、商科大学としての本学の評価を高める上で多大なる貢献であったと思います。

また、平成12年に本学に政策研究科博士課程が設置されてからは、博士課程のスタート時からの教員スタッフとして、亡くなられる間際まで熱心に研究指導を行ってくださり、本学政策研究科の基盤を支えてくださいました。岡本教授は、定年を迎えられた後も特任教授として大変意欲的に指導にあたられ、博士課程の中で最も多くの学生を指導してくださったお一人であったと思います。

近年、大学を取り巻く環境条件は厳しさを増し、本学も社会が求めるよりよい教育を実現する大学として価値を高め、次の世代の若い人々を育てていくことに努めています。岡本教授が長年に亘って後輩の育成にご尽力くださった千葉商科大学が、今後ますます発展していく様子を天国の岡本教授に見守っていただきたいと思いません。